

特集

戦争を知らない 私たちができること

奨学生大阪平和フィールドワーク
原水爆禁止世界大会 in 長崎

いがかせいだより
けんしゅうエッセー

合格HISTORY

「未来の医師を応援」

なにかの医療道場
高校生・受験生の
みなさんへ

大阪民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。2023年、連合会設立70周年を迎えました。現在、4つの病院、49の診療所、7つの歯科診療所、32の訪問看護ステーション、35の保険薬局、2つの老健施設、薬剤・診療材料センター、看護専門学校、検査センター、在宅看護支援センターそして社会医学研究所が、大阪民医連に加盟しています（2022年3月現在）。病院・診療所での実習を、随時受け入れています。

※医学生センターは、阿倍野医学生センター（大阪公立大学近辺）、枚方医学生センター（関西医科大学近辺）、狭山医学生センター（近畿大学近辺）の3つです。

奨学金 制度

大阪民医連では、いつでも、どこでも、だれもが安心してよい医療を提供できる医療機関を目指しています。私たちの医療活動に共感し、ともに働く意思のある方を対象に奨学金を貸与しています。

●対象学年と奨学金（月額）

Aコース	1～2年生	50,000円	3～4年生	60,000円	5～6年生	70,000円
Bコース	全学年	100,000円				

他の奨学金と併用できます。詳しくはお問い合わせください

大阪民医連の病院紹介（詳細は各病院のHPをご覧ください）

臨床研修
指定病院



耳原総合病院（病床数 386床）

- 大阪府堺市堺区協和町4丁465 TEL.072-241-0501(代)
- 南海高野線堺東駅よりバス10分

臨床研修
指定病院



西淀病院（病床数 218床）

- 大阪市西淀川区野里3-5-22 TEL.06-6472-1141
- JR東西線御幣島駅徒歩5分



東大阪生協病院（病床数 99床）

- 東大阪市長瀬町1-7-7 TEL.06-6727-3131
- 近鉄大阪線長瀬駅徒歩3分



コープおおさか病院（病床数 166床）

- 大阪市鶴見区鶴見3丁目6-22 TEL.06-6914-1100
- 地下鉄長堀鶴見緑地線今福鶴見駅徒歩4分

大阪民医連 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階
TEL. 06-6268-3970

（大阪民主医療機関連合会）

<http://www.oskmin-igakusei.com/>

医学生・研修医ドットコム 検索



facebook



X (旧Twitter)



医学生・研修医.com

はじめまして民医連です

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現を目指す組織です。戦後、医療に恵まれない人々と医療従事者が手をたずさえて各地で民主診療所が作られました。そして、1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を立ち上げました。

それから70年、なによりも地域の人たちの思いを大切に、地域に求められる医療を行ってきました。

最も困難な人たちの立場に立つて、寄り添う。

設立以来一貫して、無差別・平等の理念を掲げる私たちの病院は、差額ベッド代を(※1)頂いていません。また、無料低額診療にも(※2)取り組んでいます。これは、「お金のあるなしで医療に差別があつてはならない」という私たちの考えによるものです。

※1…医療保険外の実費負担費用。病院によって金額は異なる ※2…低所得者などに無料または低額な料金で行う診療

民医連綱領

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。

戦後の荒廃のなか、無産者診療所の歴史を受けつぎ、医療従事者と労働者・農民・地域の人びとが、各地で「民主診療所」をつくりました。そして1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を結成しました。

私たちは、いのちの平等を掲げ、地域住民の切実な要求に応える医療を実践し、介護と福祉の事業へ活動を広げてきました。患者の立場に立った親切でよい医療をすすめ、生活と労働から疾病をとらえ、いのちや健康にかかわるその時代の社会問題にとりくんできました。また、共同組織と共に生活向上と社会保障の拡充、平和と民主主義の実現のために運動してきました。

私たちは、営利を目的とせず、事業所の集団所有を確立し、民主的運営をめざして活動しています。

日本国憲法は、国民主権と平和的生存権を謳い、基本的人権を人類の多年にわたる自由獲得の成果であり永久に侵すことのできない普遍的権利と定めています。

私たちは、この憲法の理念を高く掲げ、これまでの歩みをさらに発展させ、すべての人が等しく尊重される社会をめざします。

- 一、人権を尊重し、共同のいとなみとしての医療と介護・福祉をすすめ、人びとのいのちと健康を守ります
- 一、地域・職域の人びとと共に、医療機関、福祉施設などとの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます
- 一、学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します
- 一、科学的で民主的な管理と運営を貫き、事業所を守り、医療、介護・福祉従事者の生活の向上と権利の確立をめざします
- 一、国と企業の責任を明確にし、権利としての社会保障の実現のためにたたかいます
- 一、人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります

私たちは、この目標を実現するために、多くの個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共同組織と力をあわせて活動します。

2010年2月27日
全日本民主医療機関連合会

特集

戦争を知らない 私たちができること

大阪・長崎で戦争体験聞き取り、
平和への想いあらたに



2024年で戦後79年がたち、戦争体験者から話を直接聞ける機会は少なくなっています。戦争の悲劇を繰り返さないために、今私たちに何ができるのか。2023年8月24日に大阪民医連医学生奨学生は大阪夏の平和フィールドワークを実施し、学童疎開や京橋空襲を経験した方に戦争体験を話していただきました。また、8月7日〜8日にかけては、原水爆禁止世界大会が長崎で開催され、奨学生4人が参加し、平和や核兵器について学びました。

民医連の組織現勢

全日本民医連加盟事業所数	(2022.1現在)
病院	142
有床診療所	12
無床診療所	474
歯科診療所	78
訪問看護ステーション	234
保険薬局	349
薬剤・診療材料センター	33
看護・介護学校	8
検査センター	2
老人保健施設	51
介護医療院	1
在宅介護支援センター	24
特別養護老人ホーム	37
鍼灸所	3
研究所	2
ヘルパーステーション	51
グループホーム	21
在宅介護福祉関係	212
ケアハウス	11
その他	13
合計	1,758

主な医療団体との比較

職員数

民医連	83,618 (2021.10.1)
日赤	67,556 (2021.3.31)
厚生連	55,849 (2021.3.31)
済生会	64,000 (2020.3.31)

1日平均の外来患者数

民医連	55,417 (2020年度)
日赤	約60,000 (2020年度)
厚生連	約61,000 (2021.3.31)
済生会	約35,900 (2020.3.31)

訪問看護ステーション数

民医連	234 (2022.1.31)
日赤	46 (2016.3.31)
厚生連	97 (2021.3.31)
済生会	52 (2022.1.31)

診療所数

民医連	484 (2021.3.31)
日赤	5 (健康管理センター2を含む) (2021.3.31)
厚生連	60 (2020.3.31)
済生会	18 (2022.1.31)

1日平均の入院患者数

民医連	21,329 (2020年度)
日赤	約23,000 (2020年度)
厚生連	約23,410 (2021.3.31)
済生会	約16,930 (2020.3.31)

病院数

民医連	142 (2021.3.31)
日赤	91 (2021.3.31)
厚生連	105 (2021.3.31)
済生会	81 (2020.3.31)

病床総数

民医連	24,902 (2020年度)
日赤	35,219 (2021.3.31)
厚生連	32,920 (2020.3.31)
済生会	22,244 (2020.3.31)

(調査日)

奨学生

大阪夏の 平和フィールドワーク

Field work

8月24日、医学生奨学生を対象に大阪夏の平和フィールドワークを実施し、7人が参加しました。午前中は、医療福祉生協おおさかの組合員・照屋盛喜さん（90歳）に戦争体験を話していただきました。



疎開中はおながすいて たまらなかった

照屋さんは国民学校に通っていた頃、福井県へ学童疎開をしていました。福井では配給の食べ物非常に少なく、皆空腹状態で、食べ物のことを考える毎日で、おながすいてすいてたまらなかったと話してくださいました。親元から離れて集団生活をする中で、故郷が恋しくなり、集団脱走も頻発していたとのことでした。

死体を燃やした臭いは いまだに覚えている

照屋さんは終戦の年の3月に大阪へ帰ってききましたが、空襲



大阪城に残る爆風によりずれた石垣

の被害を受けた大阪の街は焼け野原となっていました。終戦前日の8月14日に大阪は最後の空襲を受け、大阪砲兵工廠があった大阪城公園を狙った攻撃がそれ、京橋駅にも1トン爆弾が落ち、通勤客で混み合っていた駅で爆発し、多くの死者が発生しました。当時、近くの工場で働いていた照屋さんは、死体を素手で運んで軍のトラックに山のように積みこむ作業に従事しました。死体を運んでいる際には「つらい」という思いも浮かばず、やらないといけないという使命感でいっぱい、「あまりに死体が多く、学校のグラウンドにも焼き場を作り、燃やした際のなんとも言えない臭いはいまだに覚えている」と生々しく実体験を話してくれました。

講演後には照屋さんも交えてディスカッションを行い、皆で戦争をしないためにはどうしたらよいか、ウクライナ戦争を止めるためにはどうしたらよいかなどを話し合い、武力では解決せず、まず何より対話が大事であることを確認しました。

平和ガイドのもとで戦跡巡り

午後からはピースおおさかに移動し、大阪空襲の背景などを学んだ後、平和ガイドを務める森田敏彦さんの案内のもと、大阪城公園内の戦跡巡りを行いました。森田さんは、大阪空襲が行われた背景として、大阪城の東側に軍直轄の兵器工場である「大阪砲兵工廠」がつくられ、「東洋一の兵器工場」といわれるほどの規模で、その横には第4師団の司令部もあり、米軍は空襲で徹底的に破壊しようとしたとのこと。1トン爆弾が近くに落ちてゆがんでしまった石垣や、機関銃の弾痕、大阪砲兵工廠化学分析場などを紹介し、大阪城に残る戦争の跡、悲惨さを詳細に伝えてくれました。



ピースおおさかや大阪城公園の成り立ちを学ぶ



旧陸軍第4師団司令部庁舎など、平和ガイドの森田さんがわかりやすく解説

お腹が空いて眠れず泣きながら過ごしていたことを知る

最初に学童疎開や空襲を経験された照屋さんからお話を伺いました。学校では学べない、学童疎開の一面を知ることができました。これまで学童疎開がいいものだと思っていたのですが、お腹が空いて眠れず泣きながら過ごしていたと初めて知りました。

次に、ピースおおさかへ行き、戦争の歴史や当時の生活について学習し、防空壕のレプリカに入る体験をしました。防空壕の環境は劣悪で、当時の方々の苦しみを少しですが感じることができたと思います。最後に、大阪城に残された戦跡を巡りました。石垣に残る機銃掃射の跡や、爆風により石垣がずれている様子などを見学し、戦争の悲惨さを改めて感じることができました。

「戦争はしてはいけないものである」ということを再認識する機会になりました。



山口大学4年
大杉萌々花（四天王寺高校卒）

戦争に無関心ではなく平和のありがたさを感じていきたい

私は高校生まで大阪に暮らしていました。京橋、大阪城あたりは通っていた高校が近くにあったため毎日歩いていましたが、その成り立ちについては「豊臣秀吉が建てた城」くらいしか着目もしてなかったし、大阪外の友達からは「都会で羨ましい」と言われてきたので大阪は「都会の街」という認識くらいでした。

今回の平和学習を通じ、終戦前日に起きた悲慘な京橋での空襲のお話や、大阪城周囲のフィールドワークで、戦争によって生じた弾痕などを目にし、この地域に悲しい歴史があったというのは信じられない思いでした。同時に、そんな悲しい歴史を乗り越え、今の賑やかな大阪があるということにその歴史を作ってきた人々への感謝の気持ち、大阪への愛着が湧き上がりました。戦争はあっていいことなんて一つもない。戦争を本気で想像するのは難しいかもしれませんが、無関心ではなく平和のありがたさを感じていきたいと思いました。



弘前大学3年
村上桃子（大手前高校卒）

💬 「核兵器をなくす」強い思いを共有

今回、原水爆禁止世界大会で一番印象に残ったのは、分科会です。私が参加した分科会は、「青年のひろば」というもので、主に被爆された方の話を聞くものでした。今回お話しくださった田中さんは、強調したいところが分かりやすく、私たちに伝えたいことがストレートに伝わってきました。世界が真っ白になったなど、被爆した瞬間の状況は実際に経験された方にしかわからないので、経験していない私たちにもその時の状況が共有されることで、戦争の恐ろしさを改めて感じることができました。

大会全体を通じて、「核兵器をなくす」という参加者、登壇者の共通の思いを強く感じることができました。共有された以上は、この思いやその背景について深く知り、自分の意見を持たなければならぬと感じました。



奥川佳依 (明星高校卒)
徳島大学3年



💬 医療者として何ができるのかを考える

今回、私は初めて原水爆禁止世界大会に参加しました。世界大会の中でも特に印象に残っているのが、分科会の「青年のひろば」です。被爆者の方の体験談では原爆が引き起こした凄惨な実情を事細かく説明していただいたことでより原爆の非情さを痛感しました。青年の交流ではとても多くの若い方が居て、今までの自分の無関心さ、消極的さを恥ずかしく感じました。日本人のみならず、ドイツ、アメリカ、韓国などの様々な国の若年層が原爆や核拡散防止条約の是非について話していました。今回の参加をもとにこれから原爆についての理解をより深め、医療者の立場として自分に何ができるのかを考えたいと思いました。

東條賢士 (大阪教育大学
附属高校平野校舎卒)
大阪公立大学6年

💬 平和を望む世界中の人々に共感

開会・閉会総会では、様々な立場の方からのご挨拶や発言を聴くことができ、多くの方々が原水爆の廃絶を願っており、平和の実現のための活動に尽力されていることを知りました。分科会では、「青年のひろば」に参加させて頂き、被爆者のお話を伺いました。戦争の悲惨さや原爆の恐ろしさを強く実感することができたように思います。海外からの青年の言葉も聴けて、世界にも我々のように平和を望む人がいることを知れたことで安心しました。

被爆体験講話では、伝承者が被爆された方の被爆体験や平和への思いを受け継いで、伝承者自身の感じた思いや意見も語られていました。高校生1万人署名活動や高校生平和大使の活動など、若い世代が平和のために尽力していることを初めて知りました。伝承者の松山さんも原爆の加害者側のアメリカの話を聴きに行くなど様々な活動をしておられ、今後もっと被爆者の話を学びたい、若い世代にも知ってもらいたいという思いからSNSやYouTubeなどを使ってよりわかりやすい形で発信していると聞き、モチベーションの高さに感銘を受けました。



飯塚洋史 (千種高校卒)
三重大学6年



2023 World Conference Against Atomic & Hydrogen Bombs

in 長崎

原水爆禁止世界大会 核兵器のない世界を目指して

8月7～8日に長崎で行われた原水爆禁止世界大会に4人の医学生奨学生が参加しました。

大会では世界各国の代表団や全国で核廃絶に向けて活動する青年の取り組みと核廃絶に対する思いを聴いたほか、分科会で被爆者証言を聴き、核兵器による被害の実相と現代の核を取り巻く情勢を学びました。

また、原爆資料館を訪問し原爆による被害の大きさを目で見て肌で感じることで痛感しました。最終日には被爆者証言を後世に語り継ぐ交流証言者として活動する大学生の証言を聴き、被爆者の言葉を聞ける最後の世代として何ができるのかを考える機会となりました。



原水爆禁止世界大会とは…原水爆禁止日本協議会を中心とした実行委員会が主催して毎年8月に長崎・広島で開催される世界大会です。核兵器廃絶・核実験反対・世界平和を目的として1955年から毎年開催されています。





青木 淳

Aoki Jun
(高津高校卒)

(東大阪生協病院 副院長)

PROFILE : 2001年3月高知医科大学医学部医学科卒業。2001年4月から耳原総合病院、西淀病院、コープおおさか病院で初期研修。2004年4月からコープおおさか病院で勤務。2023年4月から東大阪生協病院で勤務



全日本民医連
「健康格差の原因—SDHを知ろう」
保健医療研究所発行 (2020年3月)



日本プライマリ・ケア連合学会／監修
近藤尚己・西村真紀／編著
『実践 SDH診療—できることから始める
健康の社会的決定要因への取り組み』
中外医学社発行 (2023年5月)

私の目から見た ソーシャルキャピタルとSDH

医学生のみなさんはじめまして。私は大阪民医連の東大阪生協病院で内科医師として働いています。私たちの病院は99床、もともと新型コロナウイルス感染症の患者さんを入院治療する設備や体制もないような病院ですが、新型コロナウイルス感染症が2類感染症から5類感染症に移行してからは、「元気がなくなった」「食欲が落ちた」「高齢者が、外来で新型コロナウイルス感染症と診断され、かといって自宅や施設に戻すわけにもいかず、個室を空けて入院治療していただく機会も出てきました。いろいろな患者さんを診察しているうちに、ふと考えることが出てきましたので、今日はその話をしてみようと思います。

●ソーシャルキャピタルの重要性

突然ですが、医学生のみなさん。一人暮らしの高齢者で、ヘルパーさんを頼ってなんとか生活されている方を想像してみてください。この方が、もしも新型コロナウイルス感染症にかかったとしたらどうなるのかを一緒に考えてみたいと思います。ひよつとしたら「風邪をひいたかな?」と思って様子を见ているかもしれない。様子を見ても、熱中症予防を呼びかけるといふ活動を、大阪民医連では毎年行っています。このような活動はSDH (Social Determinants of Health) のメゾ活動といえます。SDHは日本語に訳すと「健康の社会的決定要因」といって、今の医学部のカリキュラムでは学ぶべき内容とされています。

なにわの医療道場

大阪民医連の医療活動



見ているうちに「食欲が落ちてきた」としたら「受診しようかな?」と思うのかもかもしれませんが、さてどうやって病院やクリニックを受診しましょうか。遠くに住む親戚に電話しましょうか。ヘルパーさんに「病院に連れてって」と頼みましょうか。それとも、しんどいけど明日の朝までそのまま様子をみましょうか。

自立した生活が困難だけど一人暮らしをしている高齢者は、きっとこんなことを考えて暮らしているのではないのでしょうか。「すぐに頼れる人がそばにいない」という環境にいると、患者さんにとって病院やクリニックが遠い存在になる。このことが、実は医療者には見えにくくなっています。

一方で「すぐに頼れる人がそばにいない」環境 (例えば訪問看護師やデイサービスを利用している) にいる患者さんたちは、「誰かが」患者さんの異変に気が付いてくれて、必要な対応ができる可能性が高くなることばかりです。

ここまでお話ししたのは「ソーシャルキャピタル」が貧しいのか豊かなのかという内容になっていきます。ソーシャルキャピタルというのは日本語に直すと「社会的資本」といい、もっと平たく表現すると「人々

の絆」とか「困ったときはお互い様の文化」などと表現してもいいかもしれませんが。冒頭に例を挙げた患者さんが、ソーシャルキャピタルが乏しい環境にいたところをヘルパーさんに発見されたのかもしれない。

●SDHのメゾ・マクロ活動

別の患者さんの話をします。今年の夏のある日に私の担当患者さんの自宅に訪問診療に行った時に、自宅に入るとすぐに暑苦しいと感じ、確認するとクーラーをつけていませんでした。理由を聞いたところ「先月の電気代が二万円もかった」とのこと。患者さんは在宅酸素療法が必要で、酸素濃縮器を24時間動かすので、電気代が高騰したのだと思います。

暑い夏にクーラーをつけない家があるというのは、本当に怖いことだと思



医師が患者さんのお宅で熱中症の予防を呼びかけ

なにわの医療道場「こんなコト聞きたい」大募集!



なにわの医療道場では、テーマを変えて医師を目指す方たちへメッセージを掲載しています。技術的なことだけでなく、「医師にとっての志」「社会の中での医師の役割」など、テーマは多数。取り上げてほしいテーマなどございましたら大阪民医連までご連絡ください。

大阪民主医療機関連合会 (大阪民医連)
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階
TEL : 06-6268-3970 FAX : 06-6268-3977
E-mail : igakusei@oskmin.com

合格おめでとう会& 入学前実習



医師体験を経験した病院等で医師体験からステップアップした実習を行います。医師体験の時に会った医師やスタッフがお祝いに駆けつけます。どんな医師になりたいのか、どんな医療をやりたいのか、今後待ち受けている医学生生活についていっぱい話しましょう！

3月頃

医学部をめざす

高校生・受験生のみなさんへ 未来の医師を応援

I want to be

a doctor

医師を目指したきっかけや医師になるまでの経緯など、自身の経験をもとにした中高生向けの医師講演を行っています。医師になるまでの道すじ、医学部での勉強や、高校時代のおすめの過ごし方など、医師を目指してきた先輩としてお話しします。講師の話や質問を通じて医師に対しての具体的なイメージを持ち、モチベーションアップをサポートします。

医師講演

冬頃



推薦入試前と共通テスト後の時期に開催。「面接とは？」のレクチャーの後、医師と管理職の面接官を前に面接を行います。志望大学の過去の面接内容を質問項目にあげ、面接後はフィードバックを行います。交流会では参加者や医師との交流も行います。

模擬面接

11月・1月頃



春 夏 冬
3・8・12
月頃

医師体験

随時

医学生とのしゃべり場

様々な大学の医学生に受験時の悩みや勉強の仕方、予備校の選び方等ざっくばらんにお話しすることができます。時には保護者の方の悩みにもこたえてもらうことも。しゃべり場に協力してくれる医学生ボランティアも募集中です！



医療倫理セミナー

10～11月頃



医学部受験には避けて通れない、医療倫理の分野から「脳死と臓器移植」や「高校生妊娠」などをテーマに、学習と交流を行っています。教材から、「患者の立場ならどう思いますか？」「家族の立場なら？」「医師の立場なら？」と、様々な立場での視点でディスカッションをします。自分の意見をしっかり伝え、相手の意見も尊重し、医師と一緒に、多様な意見があることを学びます。医師との交流もしっかりできます。

申し込み方法



または 医学生・研修医ドットコム 検索

関西医科大学 2 年 中谷彩乃

(奈良女子大学附属高校卒)

AYANO
NAKATANI

こんにちは。関西医科大学2年の
中谷彩乃と申します。私は今年の全
国医学生ゼミナール in 大阪の開催
に、現地実行委員として関わりまし
た。この経験を経て、感じたことや
学んだことをお話ししたいと思います。
まず全国医学生ゼミナール（通称
医ゼミ）について簡単に紹介しま
す。医ゼミは毎年夏に行われる医療
系学生の自主的な学習イベントで
す。100人を超える医療系学生が
集まり、学習成果を発表したり、講
演を聴いたり、議論を行います。今
年は大阪公立大学が主幹となり、大
阪で医ゼミが開催されました。
次に、現地実行委員として私が今
年行った活動についてご紹介したい
と思います。医ゼミは学生主体のイ
ベントなので、企画、運営は全て学
生が行います。12月から1月にか
け、学生の意志や人手などの条件を
満たした大学の中から主幹校が選出
されると、実行委員会が組織され、
医ゼミ本番に向け様々な準備を行っ

かけがえのない仲間と一生残る思い出を

ていくこととなります。KONA
MONs ("Kansai Overager No
order student's Association of
Medical Oriented Nations" の略)
という、私が所属する自主ゼミ
サークルのメンバーが現地の実行
委員を務めました。4月から7月
にかけて会議を重ね、テーマや事務
について話し合い、同時に学習活
動も行いました。学校の先生との
交渉や広報活動など仕事は初め
てのことだらけ、試験勉強やバイ
トとの両立で時間がなく大変でし
たが、実行委員の先輩方
がとても優しくいろいろ
教えてくださり、頑張るこ
とができました。
8月からは全国準備期間
が始まります。全国から実
行委員と有志の学生が集ま
り、泊まり込みで準備を行
うこの2週間が、医ゼミの
一番の醍醐味だと私は思っ
ています。寝食を共にし、夜遅
くまで発表するレポートにつ



いて議論し、かけがえのない仲間たち
と一生残る思い出をつくることができ
ました。そしてついに8月18日から
3日間、医ゼミ本番が開催されました。
11月の時点では、来年の主幹大学は
まだ決まっていませんが、今年仲良
くなった仲間たちにまた会うため、次回
も参加しようと思っています。ぜひ医
ゼミに参加してみてください！きつと
すばらしい経験ができるはずです。

地道な一歩ずつを積み重ねることで 開かれる未来がある！

夢をあきらめないあなたへ 先輩からの応援メッセージ!!

私は大阪公立大学医学部医学科に合格しました。

合格にあたってどのような高校時代を過ごしてきたのかを書かせていただこうと思います。

私は、中学時代から周囲の人の病気を身近に感じてきたという経験から、医師という職業につき、人を救っていくことを志すようになりました。周囲の人たちと同じような境遇に苦しむ世の中の人々を直接的に助けられることができるというやりがいのある医師という職業に憧れたからです。

高校に入ると同時に勉強に打ち込み、良い成績を取ることができてはいたものの、1年生の終わり頃には、新型コロナウイルスの影響で休校となってしまう、終業式も行われぬまま長い長い春休みへと入ってしまいました。もちろん、先が見えず、何度も勉強のモチベーションを失いそうになりましたが、先生方の工夫もあり、オンラインでの課題配布や簡易的な授業等を行なっていただくことになり、そういった機会を無駄にしないよう、学習に臨んでいました。学校が再開すると、勉強へのモチベーションは高まり、そのまま受験まで走り抜けることができ、無事合格することができて本当に良かったと思います。

受験を通して学んだのは、先を見据えることの大切さ、一つひとつの積み重ねの大切さです。目の前のことにだけ集中してしまったり、他の物事が疎かになってしまったり、周囲に目が行かず、連携をとることができなくなったりと医師になってからたくさん損をしたいと思います。また、日々の積み重ねがなく、一朝一夕での知識は何の役にも立たず、日々更新されていく医療現場での情報の波に飲まれてしまいます。

この学びを生かし、大学でも計画性と日々の積み重ねとを大切に
して、自分の目指す医師になれるよう精進していきたいです。

受験生は将来が不安になることもあるとは思いますが、地道な一歩ずつを積み重ねることで開かれる未来があります。
懸命に取り組む皆さんを応援しています。

大阪公立大学 2 年
うしじまりくと
牛島陸斗 (福岡県立福岡高校卒)



申し込み
方法

医師体験



イベント



または

医学生・研修医ドットコム

検索

<http://www.oskmin-igakusei.com/>

国試対策にも役立つ なるほど道場

国試対策も役立つ問題を3問出題します。正解者の中から抽選で**10名様**に「**Quoカード1000円分**」をプレゼントします。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。クイズの正解は次号で発表します。

締め切り 2024年6月30日(日)

今回の出題

Q1 更年期障害に対するホルモン補充療法の禁忌はどれか。

- a うつ病 b 骨粗鬆症 c 深部静脈血栓症

Q2 うつ病の患者様で、抑うつ気分と関連してみられる妄想はどれか。

- a 迫害妄想 b 憑依妄想 c 貧困妄想

Q3 成人で喘息の増悪をきたす可能性が最も高い薬剤はどれか。

- a 利尿薬 b β 遮断薬 c 塩基性非ステロイド性抗炎症薬

出題してくださる先生

くらた まさと
倉田 将豊

(洛南高校卒)
PROFILE ● 2022年東北医科薬科大学卒業。
西淀病院にて初期研修中。



応募方法

応募締め切り：2024年6月30日(日) E-mail送り先：igakusei@oskmin.com 「なるほど道場」プレゼント係
応募方法：①～③までの答えを明記し「お名前」「ご住所」「電話番号」「大学名・学年」「取り上げてほしい記事」を記入し、左のE-mailアドレスまで送信するか同封のがきにご記入のうえ下記住所までお送りください。ご不明な点は下記までお問い合わせください。

● 大阪民主医療機関連合会 (大阪民医連)
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階 TEL: 06-6268-3970 FAX: 06-6268-3977

No.80の答え Q1. b Q2. b Q3. a

ええやん!

皆さんに当会の取り組みを知ってもらうために担当スタッフが様々な記事を絶賛配信中です。イベントや病院見学など、みなさんにも有益なお知らせを散りばめています。気に入った記事があったら、ぜひみなさんの「ええやん!」をお願いします。



@osaka.miniren.igakusei



@oskmin_igakusei



医学生・
研修医.com



<http://www.oskmin-igakusei.com/>



けんしゅうエッセー

研修医の思いを聞いてください

耳原総合病院 藤井厚一郎
(清風高校卒)

KOICHIRO
FUJII

優しい風 どんな医師になりたいか

眠い目をこすりながら、うちわで子どもをあおぐ。キャンプファイヤーの炎に歓声をあげていた子どもたちが、すやすやと寝息をたてはじめる。私はキャンプの夜の寝かしつけが好きだ。



困っていることがあった。脳炎の幼児もいたし、不登校の中学生もいた。予定日が近づいてきているのに、子どもを育てる準備ができない妊婦さんもいた。子ども時代の逆境的体験や不健康な環境に、ずっと苦しめられていた大人もいた。

子どもに関わる仕事がしたいと思って小児科医を志した。病気の診断や治療はもちろん、家庭や学校、地域など子どもを取りまく環境へのアプローチも学べると聞いて耳原総合病院を研修先に選んだ。1年目の春、研修医は「患者から学ぶ」のと言われた。

その他の専門職は、困っている人のために、できることは何でもしようとする人たちだった。自分も役にたきたいと思った。それと同時に、役にしたためには勉強が必要だと痛感した。患者のためにする勉強は、想像していたよりもつらくなかった。終業時刻を過ぎた後、子どもと宿題をしたり遊んだりしている不思議な小児科医に出会った。「子ども無料塾」と呼ばれるその活動に参加し、

子どもたちから多くを学んだ。お迎えに来た保護者は、子育てのことを教えてくれた。その活動の効果を測ろうと、研究をして学会発表してみた。発表を聞いてくれた先生から、あたたかくも厳しいアドバイスをいただいた。



藤井厚一郎 PROFILE

● 2022年大阪公立大学卒業、
耳原総合病院にて初期研修中。